

平成 27 年 第 12 回定例会

岩見沢市教育委員会会議録

平成 27 年 12 月 22 日 開会

平成 27 年 12 月 22 日 閉会

岩見沢市教育委員会

平成27年 第12回定例会
岩見沢市教育委員会会議録
(平成27年12月22日)

○本委員会に付議した議件

- 1 報告第13号 教育長の一般経過報告について
- 2 協議 13 平成28年度教育委員会関係補正予算見積り状況について
そ の 他

○本委員会に出席した者

委員長	武 藏 輝 彦
委員	秋 山 信 也
委員	渡 邊 律 子
委員	杉 野 幹 夫
教育長	舩 甚 和 俊

教育部長	名 和 田 勉
子育て支援推進担当次長	鈴 木 栄 基
学校教育課長	加 藤 信 浩
指導室長	兼 平 晃 成
学校給食課長	町 田 隆
生涯学習・文化・スポーツ振興課長	相 河 学
教育施設課長	坂 口 暢 明
子ども課長	所 美 穂 子
図書館長	勝 田 真 澄
緑陵高等学校事務長	川 原 卓 也
事務局学校教育課総務係長	武 田 弘 毅
事務局学校教育課総務係	虎 谷 淳

午後 3 時 0 0 分 開会

○武蔵委員長 ただ今から、平成 27 年第 12 回教育委員会定例会を開催いたします。

本日の署名委員につきましては、杉野委員さんをお願いします。

初めに、日程番号 1、報告第 13 号 教育長の一般経過報告について 説明をお願いします。

○舩甚教育長 平成 27 年 1 月 11 日から 12 月 14 日における事務処理の概要について、ご説明申し上げます。

1 月 11 日、職員採用試験がありました。

12 日、税についての作文教育長賞の授与のため、上幌向中学校に行っていました。

以下、ご覧のとおりとなっています。

12 月 1 日、豊中及び幌向小の学校視察を行いました。

9 日、総務常任委員会がありました。栗沢こども園の開設準備についてと、保育料第 3 子減免の実施状況について担当課より説明しております。

11 日から、市議会第 4 回定例会の一般質問が始まりました。

以上でございます。

○武蔵委員長 ただ今、教育長のほうから一般経過報告がございました。

委員の皆様から、何かご意見ご質問がございましたらお願いしたいと思います。

よろしいですか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 特にないということでございますので、この報告については終了いたします。

続きまして、日程番号 2、協議 13 平成 28 年度教育委員会関係予算見積り状況について を審議いたします。説明をお願いします。

○名和田教育部長 協議 13 平成 28 年度教育委員会関係予算見積り状況について、私のほうから、平成 28 年度予算編成に係る教育委員会関係の予算要望の概要についてご説明いたします。

市の平成 28 年度予算編成方針は、厳しい財政状況のなか、人口減少という課題に対し、岩見沢市人口ビジョン及び岩見沢市総合戦略を踏まえ、引き続き行政改革大綱に沿って、市民の満足度を高めるサービスに取り組んでいくということであります。

資料 3－7 ページをご覧ください。

教育委員会関係の平成 28 年度予算要求ベースで、事業費は 66 億 7,542 万 8,000 円で、平成 27 年度の予算額 56 億 5,070 万 2,000 円と比較しますと、10 億 2,472 万 6,000 円増となっておりますが、収支で問題となります一般財源において比較しますと、3 億 9,197 万 4,000 円増、13%増であります。

本日、開催された庁議で、一般会計当初予算の要求ベースで、39 億 7,053 万 2,000 円の収支不足が報告されているところであります。

ここで、財源について簡単にご説明しますと、国と書いてあるのは、国から入ってくる歳入で、国庫支出金を言います。同じく道とありますのは、道支出金です。

起債は、借入資金であります。地方交付税に元利償還金の一部が措置される良債と言われる合併特例債、過疎対策事業債、学校教育施設等整備事業債を借り入れ、その他は、使用料や負担金であります。使用料は、施設使用料、負担金は、保育料、学校給食費等であり、国からその他までは使い道が特定されている特定財源と言われるものです。

一財とは、一般財源のことで、市税、地方税等が充てられます。

今後、年明けに財政課及び市長ヒアリングを経て、事業査定が行われる予定です。

それでは、各課長から主要事業について、ご説明いたします。

○加藤学校教育課長 それでは、学校教育課所管分の平成28年度新規・主要事業について、ご説明をさせていただきます。

事業内容について、初めての委員もおられますので、若干、学校教育課の事務について、ご説明させていただきます。

当課は、教育委員会会議の開催や、教育委員の皆様の会議や研修への案内、調整を行うとともに、教育長の動向や会議出席を調整しています。

また、学校へ直接関係する事務といたしましては、パソコンをはじめとするICTの整備や、学校施設整備にかかる備品の購入、修繕を行うことにより、学校の教育環境を整備しております。さらに、教材教具に関わる経費につきまして、年間事務経費を学校配当によって支出をしております。

また、児童生徒の登下校のためのスクールバスの運行事務を行っており、維持修繕や更新にかかる経費を計上しているものであります。

さらに、経済的理由によって就学困難な児童生徒に対し、学用品費等の就学援助を行い、義務教育の円滑な実施に向けた事務を行っております。

以上のことを踏まえまして、平成28年度の主な新規主要事業についてご説明をいたしますので、資料1-1をご覧ください。

初めに、教育情報システム化推進事業についてでございます。

これは、4点ほど書いてございますが、ICTを活用した授業の促進のための教育用コンテンツや、教員の情報研修等にかかる経費、あるいは、テレビ会議システムを活用した遠隔学習の経費、ホームページの更新等の経費でございます。746万円を見積もっているところでございます。

続きまして、教育用コンピュータ整備事業でございます。

小学校費、中学校費にそれぞれ分かれております。

こちらの教育用コンピュータ整備事業につきましては、PC教室の授業用のPCあるいは、教員用のPCを5年間長期継続契約としながらリースをしております。小中学校合わせまして、6,846万7,000円の予算を見積もっております。小中学校の内訳につきましては、それぞれ記載しております。

続きまして、学校管理事業でございます。

こちらも小学校費、中学校費に分かれておりますが、総額で4億4,148万5,000円を見積もっております。

そのうちの主な事業としましては、学校図書館用図書の年次整備として、小学校で600万円、中学校400万円で、計1,000万円の図書経費の配当予算を見積もっています。

教材教具の整備としては、小学校、中学校それぞれ記載のとおりでございますが、これも配当予算、あるいは理科の教材予算等を整備しているところでございます。これにつきましては、小学校1校あたり54万3,000円の昨年同様の金額を見込みまして、予算を要求しているところでございます。

学校施設整備品の整備ということで、小学校が498万3,000円、中学校が656万3,000円でございます。これにつきましては、ストーブや芝刈り機、除雪費、ピアノ等々、年次計画で更新をしているところでございます。

続きまして、中学校体育大会参加補助金500万円、昨年と同額でございます。これにつきましては、中体連の全道大会並びに全国大会に出場する選手、並びに教職員に対し、宿泊等の経費を500万円上限で支出する経費でございます。

続きまして、教科書改訂による指導書等の整備、小学校消耗品費219万4,000円、中学校消耗品費1,010万4,000円、備品購入費120万6,000円となっております。これにつきましては、中学校の教科書改定によりまして、大幅な上昇になってございますし、備品購入費につきましては、英語のCD教材の増となっております。

続きまして、学校選択制度事務費の94万7,000円、これはパンフレットの作成代、あるいは中学校選択制の有無についての保護者からの回答の郵送代です。

次ページ、資料1-2をご覧ください。

スクールバス運行管理事業ということで、8,927万5,000円を計上しております。

主なものとしては、スクールバスの更新で、平成28年度については、栗沢コースを走っているバスを更新したいと思っています。現在、30万キロ以上走行した大型バスを走らせておりますが、児童生徒の減少から中型1台の更新を予定しているところでございます。

最後に、就学援助事業でございます。

こちら、小学校費と中学校費に分かれております。

総額6,489万4,000円でございます。学用品費あるいは体育実技費等々の就学援助でございますが、今年度、新規に就学援助の品目の追加ということで、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費のいわゆる3品目でございますけれども、これにつきましては、追加しております。3品目トータルしまして、1,521万6,000円増額の見積額となっているところでございます。

学校教育課は以上でございます。

よろしくご審議お願いいたします。

○兼平指導室長 指導室について、説明をさせていただきます。

指導室は、教育課程の管理を中心に、特別支援教育の推進、生徒指導、安全指導、教職員の資質向上など、指導面を担当している部署でございます。

資料１－２中段をご覧くださいと思います。

教育情報システム化推進事業のうち、児童見守りシステム推進事業でございます。

児童の登下校時の情報などを保護者にメール配信するなど、安全安心の確保のための事業でございます。システム管理のための費用、ＩＣＴタグ購入費などが含まれております。

次に、みらい広がる学校活動支援事業でございます。

各学校が企画立案する事業を支援し、学校支援ボランティアを各校に派遣するために、１,６２９万円計上しております。

次に、特別支援教育推進事業でございます。

障がいを持つ児童生徒の増加や、通常学級に在籍する発達障害の児童生徒に対する支援が求められていることから、来年度も特別支援教育支援員２名を増員して、２７名の配置体制での推進を計画いたしました。

次に、教育指導振興事業でございます。

来年度は、現在、みらい広がる学校活動支援事業補助金で行っております、光陵中学校と塾との連携事業、Ｓスタディを土曜学習会として実施することを計画しております。

また、日本の伝統文化の継承と、思考力などの育成の観点から、囲碁授業を市内の５校程度で実施することを計画しており、増額を要望しております。

続いて、外国語指導助手活用事業でございます。

英語が使える岩見沢の子どもの育成を目指し、現在ＡＬＴ９名を配置しております。来年度は最大で７名の入替りが予想されておまして、その費用を計上しております。

また、小学校高学年を対象に、土曜キッズ英会話の実施を計画しており、その費用も見込んでおります。

次に、教育支援センター事業です。

今年度、新規事業として立ち上げましたが、１１月末現在で３００件を超える相談に対応しております。登校支援室は、同じく２１名の児童生徒を指導しております。

来年度は、学校心理士の待遇改善、スクールカウンセラースーパーバイザーと医療アドバイザーの勤務日数増、またスクールソーシャルワーカーの嘱託職員としての採用を要望しております。

次に、教育研究所運営事業でございます。

岩見沢市立教育研究所は、現在のような形になってから、早や８年目を迎えますが、予算的には現状維持で要望しております。

以上でございます。

○町田学校給食課長 学校給食課の予算見積りにつきまして、ご説明いたします。

学校給食課では、３か所の共同調理所から、市内小中学校２５校に年間１９０食を基準

といたしまして、給食を提供しております。

初めに、学校給食共同調理所運営事業でございます。

主な内容といたしましては、新たに食物アレルギー対応及び食育推進のための栄養士1名、188万4,000円を計上しております。

また、学校給食で出る野菜くずや、食べ残しなどの残渣を、たい肥化するための、生ごみ処理手数料といたしまして、259万円計上したほか、岩見沢共同調理所の調理等業務の委託費として、8,569万2,000円などを計上したところでございます。

次に、学校給食共同調理所整備事業でございます。

「日本一安全で子どもたちに喜ばれる学校給食」を目指し、駒澤大学附属岩見沢高等学校跡地に新学校給食共同調理所を整備するもので、設計業務委託費3,338万2,000円、工事請負費として、2か年工事のうち、平成28年度分といたしましては、5億7,940万円を計上したところでございます。

次に、学校給食共同調理所車両運行管理事業でございます。

この事業は、調理所から各学校に給食を配送する車両の運行事業でございまして、業務委託料といたしまして、2,246万4,000円を計上しております。

以上でございます。

○相河生涯学習・文化・スポーツ振興課長 続きまして、生涯学習・文化・スポーツ振興課の予算につきまして、ご説明いたします。

当課につきましては、生涯学習事業及び文化・スポーツ事業を開催するとともに、市民活動の支援を行っております。また、文化・スポーツ施設等の管理運営をしております。

それでは、順に事業の内容を説明させていただきます。

まず、初めに、市民の学び支援事業でございます。

要求額に今年度と大きな変更はございませんが、944万5,000円を見積もっております。引き続き、小中学生を対象とした、いわなびチャレンジスクールやいわみざわ市民大学、高齢者大学の開催など、子どもから高齢者までの全世代に向け学習事業に取り組んでまいります。

また、学びの拠点となっております、生涯学習センターの更なる利用促進を図るとともに、引き続き、教育大学と連携した学習活動を企画してまいります。

次に、生涯学習センター管理事業でございます。

要求額として、8,977万7,000円を計上し、うち指定管理委託料については、今年度と同額の7,226万6,000円を見積もっております。

また、センター利用者用駐車場使用料といたしまして、160万円を新たに見積もっております。これにつきましては、生涯学習センターの専用駐車場が満車になった際に、あふれた利用者の駐車料金の負担を軽減する対応ということで、生涯学習センターの周辺駐車場でも、同等の無料扱いにするための使用料でございます。

次に、岩見沢郷土科学館管理事業でございます。

岩見沢郷土科学館の管理運営などに関わる予算として、2,770万3,000円を計上しております。

来年度も引き続き、郷土科学館や生涯学習センターを会場に、科学、創作、天体、自然に関する学習機会の提供に取り組んでまいります。

また、郷土資料の再編整理による展示の見直しの一環といたしまして、老朽化が特に著しい北村農業資料館を今年度末で閉館といたしまして、一部資料を他の施設へ移転のうえ、新たな資料コーナーを開設する予算といたしまして、554万円を見積もっております。この北村農業資料館の廃止につきましては、改めてご審議をいただく予定でございます。

次に、地域文化振興事業でございます。

要求額612万8,000円を計上しております。

子ども文化祭や市民の文化祭などの開催をはじめ、文化団体の自主的な活動や芸術文化に関わる全国大会出場に対する支援、また、子ども囲碁教室や全道規模の子ども囲碁大会の開催に対する支援を行ってまいります。

次に、文化のまちづくり事業でございます。

事業補助金として、今年度と同額の1,500万円を見積もっています。

野外音楽堂や市民会館・文化センターなどにおきまして、和太鼓やクラシック、演劇など、多彩なジャンルで優れた芸術文化の鑑賞機会を提供してまいります。来年度の新たなものとしましては、プロダンサーによりますダンスのワークショップや公演を実施するほか、教育大学と連携した企画を新たな必須事業として補助いたします。

次に、健康・スポーツ振興事業でございます。

要求額1,162万8,000円を計上しております。

市民歩け歩け大会やウォーキングマラソンなどの歩く健康づくり事業や、子どもの体力・運動能力の向上とスポーツに触れるきっかけづくりを目的といたしました、小学校低学年向けの楽しいキッズスポーツ教室の開催などに取り組んでまいります。

最長で42キロを歩きますウォーキングマラソンについては、来年度は、1,000円程度の参加料をいただきまして、それ相当の記念品を提供するということを検討しており、今後は、特色のある大会として拡充を図って、市外からも広く参加を募ってまいりたいと考えております。

また、来年度は、プロ選手などのトップアスリートにより直接指導を行う、子どもスポーツ教室の開催に関わる予算として、報償費など32万7,000円を見積もっているところでございます。

次に、新規事業になりますが、オリンピック・パラリンピック推進事業でございます。

現在、市では2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、教育大学岩見沢校と連携を図りながら、パラリンピックの合宿誘致に取り組んでいるところであり、教育部のみならず、企画財政部などと庁内連携を組んで事業を進めております。

誘致活動につきましては、昨年度から具体的に動き出しておりまして、これまで活動の

経費は、企画室予算で対応しておりましたが、来年度からは、事業が少しずつ本格化するという時期を迎えており、取組の中心、更には対外的な誘致窓口は当課が担当となっておりますことから、この度新規事業として起こしたものでございます。

事業費は、160万7,000円を計上しており、具体的には誘致交渉のための旅費等の事務経費のほか、パラリンピア等を招きましたセミナーの開催経費、更には、アダプテッド・スポーツ、いわゆる障害者スポーツの体験イベントに対する補助金を見積もっております。

最後に、社会教育施設等管理事業でございます。

こちら、複数事業を集約したものでございますが、指定管理者制度を導入しております、北村環境改善センターや市民会館・文化センター等の社会教育施設、また、スポーツセンターや陸上競技場などの社会体育施設の運営管理に関わる予算として、総額3億5,218万6,000円を計上しております。うち指定管理委託料として、社会教育施設と社会体育施設の合計で3億4,786万9,000円を見積もっております。

当課につきましては、以上でございます。

○坂口教育施設課長 教育施設課は、今年4月に新しくできた課でございます。

主に、学校施設や社会教育施設の工事、修繕等を担当しております。

初めに、教職員住宅管理事業でございます。

教職員住宅60戸の維持管理、補修などのために、1,004万8,000円を見積もっております。

続きまして、校舎等管理事業でございます。

学校施設の維持管理、計画的な設備の更新整備などのために、小学校1億481万7,000円、中学校1億843万9,000円、合わせまして2億1,325万6,000円を見積もっております。

続きまして、学校プール管理事業でございます。

小学校7校にございます、プール施設の管理でございます。毎年、プールシートを取替えを行っておりますが、平成28年度は東小学校のプールシートを取替え分としまして、163万6,000円を含めました、809万1,000円を見積もっております。

続きまして、小学校校舎等耐震化事業でございます。

南小学校の耐震補強・長寿命化改修工事、2か年事業の1年目でございますが、その分8億6,010万6,000円を含めました、8億9,044万5,000円を見積もっております。

続きまして、社会教育施設整備事業でございます。

指定管理者制度を導入している施設のうち、平成28年度で一旦終了いたします栗沢文化センターについての更新分といたしまして、59万円を計上しております。

続きまして、文化施設管理事業でございます。

総額2,744万円を見積もっております。施設整備分といたしまして、記載のとおり、

市民会館、文化センターの6項目、2,674万円を含めております。

続きまして、体育施設管理事業でございます。

総額1億5,414万2,000円でございます。

施設整備関係としまして、1億5,284万2,000円、そのうち東山・岡山地区スポーツ施設運営事業でございます。

東山公園の陸上競技場第3種公認が来年度で切れるということでございますので、トラック等の補修1,620万円、用具器具の購入1,213万6,000円、それから岡山スポーツフィールド管理棟の基礎設置の修繕150万円を合わせまして、2,833万6,000円を見積もっております。

それから、鉄北地区のスポーツ施設運営事業でございます。

総合体育館の雑用水ポンプの取替えで50万円、バスケットゴールの購入で930万6,000円を見積もっております。

次に、温水プール・北村プール運営事業でございます。

温水プールのトイレの洋式化の修繕ということで130万円、非常用放送設備の修繕で190万円を見積もっております。

続きまして、北村多目的体育館・土里夢公園パークゴルフ場運営事業ということで、多目的体育館の非常照明蓄電池の取替え修繕160万円、玄関屋根等の修繕で210万円を見積もっております。

続きまして、栗沢スポーツ公園運営事業ということで、栗沢球場スコアボードの修繕で1,800万円、栗沢B&G海洋センター屋根・外壁等改修工事で8,700万円を見積もっております。

最後に、栗沢スポーツ公園パークゴルフ場の券売機の購入ということで130万円を見積もっております。

教育施設課は以上でございます。

○所子ども課長 子ども課は、0歳から18歳までの、子ども・子育て支援を担当している課でございます。

子ども課の主要事業等について、説明をさせていただきます。

資料1-7になります。

初めに、子ども・子育て支援事業です。

子ども・子育てプランに基づき、子育て支援にかかる事業を実施いたします。子育て支援センター、親子ひろば、ショートステイ、ファミリーサポート支援者の育成などに、約2,700万円を見積もっています。

次に、児童療育事業です。

障がいの早期発見、早期療育を目指して、社会福祉協議会に委託する、子ども発達支援センターの運営費です。近年の相談件数や相談時間の増加に伴い、相談員を0.5名増員要望しております。

次に、産前産後ヘルパー事業です。

産前産後の子育て家庭の負担軽減のため、平成25年度から実施している事業です。1回2時間を上限に、20回、計40時間まで利用できるという制度ですが、平成28年度からは、通院時の付添いなど、外出の同行に限り、40時間の範囲内で1回3時間までの利用を認めるよう、要件を緩和する予定です。

次に、特別育児支援ヘルパー事業、新規事業です。

要保護児童対策地域協議会のケース検討会議において、在宅における支援が必要であると認められた育児困難家庭等に対して、見守りと家事援助のために、ヘルパーを派遣する事業です。

次に、あそびの広場運営事業、こちらも新規事業です。

であえーる3階のあそびの広場の運営費で、振興いわみざわに指定管理委託します。

子ども・子育ての拠点となる「えみふる」は、親子が楽しめる居場所を作り、その周りに相談や支援の窓口を設けているというのが特徴です。あそびの広場が、親子の居場所として、広く市民に愛される施設となるよう、指定管理者と協力してまいりたいと考えております。

次に、児童厚生施設運営事業です。

市内の12児童館と、来夢21子ども館の運営費です。年次計画に基づく改修ですが、平成28年度は、東・栄児童館遊戯室の屋根改修のため、約650万円を見積もっております。

次に、青少年対策事業でございます。

青少年センターを中心とした、補導活動や環境浄化モニターによる、巡回を行うための経費です。

次に、留守家庭児童対策事業です。

仕事を持つ保護者などの支援、並びに放課後児童の健全育成のため、児童館を中心に15か所で放課後児童クラブを運営いたします。また、有料で運営する民間放課後児童クラブに対し、国の補助基準に基づき運営補助を行います。子ども・子育て支援新制度に伴い、本年度から、1クラブあたり指導員を2名配置しております。

次に、保育所入所運営事業です。

児童福祉法に基づき、保育を必要とする児童のため、認可保育所への入所に関する費用として、約11億4,000万円を見積もっています。保育料については、現在、独自軽減策の見直し作業中のため、現制度での見積りとなっております。見直し案が確定後、歳入予算額を修正する予定です。

また、平成28年度については、ひまわり保育園から老朽化に伴う改築の要望が来ております。これについては、従前どおり、道の補助が確定したうえで、補正予算対応とする予定であり、当初予算には計上しておりません。

次に、病児・病後児保育運営事業です。

本年度から始めた事業で、病児保育を市立病院院内保育園に併設する施設で、病後児保育を東保育園で実施しています。病児保育の利用は多いのですが、病後児の利用が少ないというのが現状です。

次に、栗沢地域子育て施設等整備事業です。

栗沢に、公設民営の認定こども園を設置するための整備費です。計画当初、こども園と文化交流施設を一体的に整備する予定でしたが、市民センターとの関連を整理し、併設場所をどこにするのか、もう1年かけて検討することになっているため、認定こども園の建設費のみを見積もっております。

次に、幼稚園就園特例奨励事業でございます。

保育所の第3子以降無料化と同様、18歳未満の子から数えて第3子目以降の幼稚園児にかかる入園料、及び保育料を助成するものです。新年度、私立幼稚園5園のうち、子ども・子育て支援新制度の幼稚園に移行する予定の、聖十字幼稚園、天使幼稚園を除く3園、よいこの国幼稚園、めぐみ幼稚園、駒澤幼稚園がこの制度の対象となります。

最後に、幼稚園入所運営事業、新規事業です。

先ほども申し上げたように、平成28年度から、聖十字幼稚園と天使幼稚園の2園が、新制度に移行します。従来制度では、幼稚園は私学という位置づけであり、運営費は国と道の負担となっておりましたが、新制度では、保育所と同様、市から幼稚園に対し運営費が支払われます。

財源として、国・道の負担金がありますので、見積額約9,200万円のうち、一般財源負担は、約3,200万円です。一般財源負担については、交付税で措置をされる見込みです。

子ども課については、以上でございます。

○勝田図書館長 それでは、資料1－8、図書館に関する予算見積りについて、説明をさせていただきます。

図書館活動運営事業についてでございます。

事業費としまして、8,167万2,000円を見積もっているところでございます。

平成13年9月に開館し、既に14年を経過した図書館でございますが、地域の知の拠点施設として、快適で安心してご利用いただけるよう、施設の計画的な整備を図ってまいりたいと考えております。

主な内容といたしまして、年次計画の3年目となります、空調設備の冷却塔の経年劣化に伴います取替え修繕費用として、297万7,000円を見積もっているところでございます。

次に、ブックスタート事業でございます。

4年目を迎える本事業でございますが、絵本をとおした親子の触れ合いはもとより、乳幼児期から本と親しみ、親子での読書習慣、家族そろっての読書習慣の流れを作る、大きな役割を果たしているところでございます。

今年度につきましても、橋本育英福祉基金を財源といたしまして、平成27年7月から平成28年6月までに生まれた赤ちゃんと保護者、560組を対象にブックスタートパックを贈り、成長段階に応じたフォローアップ事業の充実を図ってまいりたいと考えているところでございます。

以上でございます。

○川原緑陵高等学校事務長 緑陵高等学校は1学年普通科4学級、情報コミュニケーション科2学級で、現在運営しているところでございますが、平成28年度より普通科4学級のうち3学級を普通コース、1学級をスポーツ総合コースとして、運営することになっております。

それでは、資料1－9をご覧ください。

主要事業といたしまして、初めに学校管理事業についてご説明いたします。

平成27年度からの主な変更部分について、ご説明いたします。

平成27年度は、旧駒澤高校跡地の室内練習場の水道電気設備工事を実施しておりますが、平成28年度は、野球場の照明の電灯の引込み工事を1,596万3,000円で要求しております。また、野球場の内外野の整備、ベンチ周辺の排水整備として、160万円を要望しているところでございます。

次に、教材教具整備事業でございます。

特色ある教育活動を円滑に実施するために必要な教材教具を整備する事業でございます。先ほど申しあげました、スポーツ総合コースの開設に伴いまして、トレーニング機器や剣道の防具等で638万6,000円を新たに要求したところでございます。

以上でございます。

○武蔵委員長 はい、協議13について、部長からは概要の説明、それぞれ担当の課からは主要事業についての説明がございました。

教育委員会は、施設を多く抱えているということと、市の予算の歳出全体に占める割合が大きいので、そういう意味では厳しい査定を受けやすい部署のように思います。

先ほど、部長の説明にもあったとおり、市の全体の予算が縮小しているなかで、事業によっては大幅な増額もありますので、教育大綱あるいは教育行政方針等との整合性をきちんと図ったうえで、財政部局に説明し、納得してもらわなければ、査定により減額されてしまうということも想定されます。そうならないために、今日は委員の皆様からご意見をいただいて、内容を確認したいと思います。また、流れとしては、本日の協議の後、企画財政部のほうでいろいろ調整が入って、最終的に3月の市議会に諮る予算案を最終確認するために2月の定例教育委員会でもう1回審議することとなりますので、それを踏まえたなかで、発言をお願いしたいと思います。

それではまず、課ごとに審議を進めて、最後に全体をとおして、何かあれば発言いただくという形で進行したいと思います。

初めに、学校教育課に関わる部分について、委員の皆様からご意見ご質問がありました

らお願いしたいと思います。

ないようですので、僕のほうから1点、就学援助事業に関してですが、対象となる人数は、どれぐらいを見込み積算しているのでしょうか。

○加藤学校教育課長 3費目でございますけれども、まず、順に追って説明いたします。

クラブ活動費、総額1,189万円の内訳でございますが、小学校で、高学年4から6年生で、313名を対象としております。

中学校は1年から3年まで、373名を見込んでいます。

生徒会費につきましては、中学校でございます。1年生から3年生まで373名、PTA会費は小学校で1年から6年まで621名、中学校は1年から3年まで373名を見込んでおります。

これは、認定率を過去3年間の平均を参考にしまして、翌年度も継続して認定されること、また、新1年生は、過去のデータから認定者数を想定しまして、最大でこの人数ということで予算を見積もっております。

○武蔵委員長 ありがとうございます。

ほかによろしいですか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、指導室に関わる部分でお願いしたいと思います。

○秋山委員 特別支援教育推進事業のところで、特別支援教育支援員の2名増を要望するということですが、現在、該当する子どもたちの人数がどれくらいなのかをお教えいただけますか。また、今後増えると想定しているのでしょうか。

○兼平指導室長 すみません。具体的な人数は今、手元にはございませんが、全体の児童生徒数が減少するなかにあって、ここ数年、対象の子どもの人数はほぼ変わっていない状況でございます。その割合は、微増していくのではないかと思います。

○武蔵委員長 必要な支援の対象が1校で多岐にわたるという状況もあるのでは。

○兼平指導室長 はい。養護学校判定のお子さんが、特別支援学級を希望されて、特別支援学級在籍ということもございますし、それが同じ学校の同じ学級に複数在籍するというような事情もございました。

○武蔵委員長 よろしいですか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 そのほか、いかがでしょうか。

○渡邊委員 教育支援センターが設けられまして、相談件数が非常に多いようですが、何名が利用されましたか。

○兼平指導室長 人数で言うと、327名です。

ただし、相談の内容が複数にまたがっていることもあります。件数分けすると368件となります。昨年同期の7倍弱の相談件数です。

○渡邊委員 もうひとつ、すみません。スクールソーシャルワーカーの方は常勤させるの

か、要望があった時にその方と接するのか。どのようにお考えですか。

○兼平指導室長 今、要望しておりますのは、嘱託職員として常勤を要望しております。

これは、教育支援センターのスタッフの位置づけとして、スクールソーシャルワーカーの資格を持った、専門的に対応できる職員を置くということで、日常的には教育支援センターの業務をする傍ら、必要があれば、スクールソーシャルワーカーとして学校・家庭の支援に入るといような形を想定しております。

○武蔵委員長 はい、市議会のなかでも教育支援センターの現状について質問がありました。相談件数が増えておりますが、教育支援センターの取組により、相談がしやすくなったということが大きいのではないかと思います。更なる充実が必要ではないかということがありました。

○渡邊委員 はい。

○武蔵委員長 ほかにございますか。

よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、学校給食課に関してお願いしたいと思います。

新調理所については、いよいよ着手して平成29年度中の供用開始目指すということになります。

よろしいですか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 はい、続きまして、生涯学習・文化・スポーツ振興課に関してお願いしたいと思います。

オリンピック・パラリンピックについては、正式に担当窓口になったということですか。

○相河生涯学習・文化・スポーツ振興課長 企画室と連携して取り組んでおりますが、ホームページなど対外的な窓口が当課となっておりますので、この度予算計上させていただきます。

○武蔵委員長 はい。

○渡邊委員 生涯学習センターの管理のことですが、私も一度利用させていただきました。周辺のパーキングが借りられるということになれば、利用者にとっては非常にいいことだと思います。

○相河生涯学習・文化・スポーツ振興課長 はい、契約等の事務手続きがありますので、平成28年度の4月当初にはおそらく間に合わないと思います。5月もしくは6月ぐらいからということになるかと思います。

生涯学習センターの駐車台数が39台と少なく、イベントが集中すると駐車できない状況となっております。

平成25年のオープン当時、であえーる岩見沢を管理しております、振興いわみざわのほうから、少しでもであえーるのほうに客を呼び込みたいということで、いわなびの利用

者についても、であえーるに停めてもらって一定時間無料で停めさせていただけるというお話がございました。

このように、平成25、26、27年度は利用できましたが、振興いわみざわの考え方も当初と変わりまして、無料とする時間が、当初5時間だったのが3時間になって、現在では2時間になっております。

平成28年度からは、それも難しいという話がございまして、そうなった時に、であえーるが通常どおりに徴収すると、急に利用者に対して負担をかけてしまいますことから、周辺駐車場に一定の条件を提示したなかで、いわなびと同等の契約を取り交わして、無料扱いで駐車料金を設定させてもらうことといたしました。

○武蔵委員長 はい、よろしいですか。

（「はい」という声あり）

○武蔵委員長 それでは、教育施設課の部分でお願いしたいと思います。

栗沢の施設に1億円ほどかかりますけど、年数が経っているからということでしょう。

○秋山委員 ひとついいですか。

教職員住宅管理事業について、現在、60戸ある教職員住宅は維持管理、修復などかかりますが、全戸埋まっているのでしょうか。

○坂口教育施設課長 11月1日現在で、36世帯が入居しております。

○武蔵委員長 はい、よろしいですか。

○秋山委員 はい。

○武蔵委員長 南小の耐震補強・長寿命化の工事は2年目ということで、補正した内容も含め、予定どおりの要望ということです。また、体育施設について体育協会からはいろいろな要望がきていて、それぞれの施設に対して便宜が図れるかということもありますが、最低限必要な改修については要望するという状況でしょうか。実際にはこれ以上に修繕が必要な施設があるということですね。

よろしいですか。

（「はい」という声あり）

○武蔵委員長 はい、続きまして、子ども課の部分でお願いしたいと思います。

新しい事業としては、あそびの広場と栗沢地域の子育て施設でしょうか。

特にありませんか。

（「はい」という声あり）

○武蔵委員長 はい、それでは、続きまして、図書館に関してお願いします。

何か、ございませんか。

図書館活動運営事業は減額となっていますが、今年度の改修費が結構大きかったということでしょうか。

○勝田図書館長 はい、そうです。

○武蔵委員長 よろしいでしょうか。

それでは最後に、緑陵高等学校に關してお願いします。

○渡邊委員 来年度、スポーツ総合コースが新たにできるということで、その設備の整備を計画的にされていますことから、期待する生徒たちが集まってくれるといいなと感じています。

○武藏委員長 はい、ありがとうございます。

よろしいですか。

それでは、全体をとおして、平成28年度の予算見積りについて何かありますか。

○杉野委員 ひとつだけ、教えてください。

資料1-4、岩見沢郷土科学館管理事業のところで、郷土資料の再編整理を行うとのことですが、北村農業資料館の閉館のお話も含め、もう少し詳しく教えていただければと思います。

○相河生涯学習・文化・スポーツ課長 市町村合併によりまして、岩見沢の郷土科学館、北村には北村農業資料館、そして栗沢には子ども館と図書館が併設された来夢21資料館があります。

合併以降、統一した新岩見沢の資料館として、まだ郷土科学館の展示が見直されておられません。また、北村の農業資料館は昭和57年の開設で、30年以上が経過しており、老朽化が著しいということを勘案しまして、今後、科学館をまず整理、新たにリニューアルをした形で、展示の見直しを図りたいという考えがございます。

それに合わせまして、北村の農業資料館については、資料の一部を北村環境改善センターの一部無料の休憩スペースに移転をいたしまして、地元の資料については地元で見せるようなコーナーを作って紹介する考えです。

最終的には、3地域の資料をある程度整理したなかで、展示以外の資料につきましても集約してまいります。

更には、資料の整理についても、現状はそれぞれの施設のルールに基づいておりますので、それについても、統一した基準、ルールに基づいた資料台帳を作成していく考えであります。

○武藏委員長 ほかにいかがでしょうか。

○秋山委員 栗沢地域に認定こども園の建設を予定している訳ですが、現在、幼稚園は園児がかなり少なくなっていると思います。また、保育所はどのぐらいの人数になっているのか。予測になってしまう部分もあるかと思いますが、教えていただければと思います。

○所子ども課長 現状ですね、すみれ幼稚園に9名の入園者、市外の、南幌などの幼稚園に通っている方が8名いらっしゃいます。

保育園については、栗沢保育園に35名の入所者、市内の民間保育所などを使っている方が、その他24名いらっしゃいます。

認定こども園の定員は60名を想定しておりますが、定員を超えるニーズはありと予測

しています。

○秋山委員 わかりました。

○武蔵委員長 はい、そのほかありませんか。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 よろしいですか。

それでは、いろいろとご意見も出ましたけれども、じっくりと取り組んで予算獲得をしていただきたいと思います。

それでは、この案件については、皆さんご了承いただいたということで終わらせていただきます。

続きまして、その他に移ります。

まず、委員の皆様から何かお持ちの方いらっしゃいますか。

特にありませんか。

それでは、事務局のほうで何か、お持ちの方がいらっしゃったらお願いいたします。

○兼平指導室長 指導室から2点ございます。

まず、最初に、平成27年度教育委員学校視察のまとめについてでございます。

今年度も、全ての学校視察を実施することができました。

視察についてですが、まず、(1)授業参観におきまして、参観にあたってここを見てほしいと、積極的に参観の観点を示す学校が、少数ではあるものの増えてきています。

ただ、社会科で、偏った歴史認識や、誤った解釈による授業が散見されたり、今年度においても、道徳の授業が設定されない学校が存在しておりまして、先日の校長会議、教頭会議においても、大きな問題であると指摘させていただいたところでございます。

学校で統一した授業スタイルがかなり定着してきておりまして、取組が遅れている学校との格差が、はっきりとしてきたかなという印象を持ちました。

それから、小中学校の連携が進んでまいりましたが、連携のための連携ではなくて、学力向上を軸に据えた連携が望まれると考えております。

道徳の時間の授業に関しましては、学年で同じ教材を扱っているにもかかわらず、全く違う授業内容も見受けられました。年間指導計画に沿った実践と、それぞれの学校での道徳の授業の基本型の確立、これがやはり必要であるということでございます。

(2)説明・懇談内容に関しましては、学力に関する各種データを、経年変化でわかりやすく示してくれる学校が増えてまいりました。

その他でございますが、指導案を用意してくれた学校もありまして、その辺進んできたかなと思っています。

それから、服装も含めまして、教育委員に見せるということを意識している様子も、感じられるようになってきたところでございます。

次年度以降に向けて、今年度は、最後は雪が降るなかでの視察ということになってしまいました。やはり、10月中に終えるように計画をしてまいりたいと思っております。

今年度は、日程が何度か変わりまして、ご迷惑をおかけいたしました。委員皆様のご協力により、実り多い視察ができたと考えております。感謝申し上げます。

ご意見をいただきましたら、次年度の実施要領などに反映させてまいりたいと思います。よろしく願いいたします。

○武蔵委員長 皆さんお気づきの点などあれば、お願いしたいと思います。

○杉野委員 教えていただけてよろしいですか。

私は最後の2日間の視察には参加させていただきましたが、参加していない学校もありますので、視察についての授業参観のところで、2つほど教えてください。

ひとつは、社会科の偏った歴史認識による授業が散見されたということですが、支障なければもう少し詳しく教えていただきたい。

もうひとつは、その下の道徳の時間の授業が、公開されなかった学校があるということですが、理由をどのように押さえていらっしゃるのか教えてください。

○兼平指導室長 社会科ですが、例えば、戦後のオリンピックに日本が参加できなかった時期があるのですが、それについて、「日本が悪いことをしたから参加できなかった」というような授業がされておりました。具体的にはそのことが理由ではございません。子どもたちに誤った認識が定着してしまうおそれがあると感じました。似たようなことが、あと1、2件ございました。

それから、道徳ですが、ここが問題だということでお話させていただいたところなのですが、取り立てた理由がないんです。

例えば、その都度、設定されなかったとしても、「先生方が難しいところがあるのでしょうか」と聞くのですが、「いや、そんなことはない」ということでございます。ということは、実施要綱の解釈といいますか、それに沿った実施というところの意識が問題ということになってしまいますので、そういう意味では、そのあたりを含めまして、大きな問題だなと思ったところであります。

○杉野委員 ありがとうございます。

○武蔵委員長 道徳の授業は、見せてやるという意欲を見せてくれるのはいいのですが、ひとクラスには2、3分、長くても5分ぐらいしかいられないので、どんな授業展開になっているのか分からないということもあります。いろいろな教科を交えたなかで、必ず道徳を入れてもらうというのが一番ありがたいかなと思いました。

よろしいでしょうか。

もし、お気づきの点がありましたら、指導室長のほうに直接でもいいですので、お願いします。

○兼平指導室長 次に、平成28年度の岩見沢市の教育を推進するにあたってについてでございます。

お手元の資料をご覧いただきたいと思います。

これは、平成28年度の教育行政方針の骨子となります。市内の校長先生が、学校経営

方針を立てるにあたって、教育行政方針を発表するに先立ってお伝えしていくものでございます。

まず、表面の教育の動向について、ご覧いただきたいと思います。

1は変わっておりませんが、2「教育の現状と課題」、それから3「これからの教育の目標について」、これは、次期学習指導要領の論点整理という資料がございまして、それらを参考に、ほとんど書き換えました。これから求められる内容ということで、一新しております。

それから裏にまいりまして、3つの施策に関しましては、本年度の教育行政方針の骨子を基にしております。

表現が変わりましても、内容的には大きく変わってはおりません、ただ、3「育ちと学びを支える教育環境の充実」の（6）に、子どもの学ぶ場、機会の提供と題しまして、土曜学習会、土曜英会話、学び合い広場の取組について記載をいたしました。

以上でございます。

ご意見などあれば、ご指摘ください。

○武蔵委員長 平成28年度の教育行政方針とも大きく関わってくる内容です。

今度、教育大綱もできますし、そちらとの整合性も必要になってくると思います。何かありましたらお願いしたいと思います。

よろしいでしょうか。

○兼平指導室長 ご意見、また、疑問点があれば聞いていただきたいと思います。ただ、教育行政方針を実際に作成するにあたって、こちらは骨子にはなるのですが、項目立てを整理をしたり、若干の変更は毎年ございますので、その辺はご理解いただきたいと思います。

○武蔵委員長 そういう形で、学校側にも提示しなければなりません。

そのほかに、お持ちの方いらっしゃいますか。

なければ、次回、来月の定例会の日程ですが、第3火曜日は1月19日ということになります。その日程でよろしいでしょうか。

今回は、1月19日火曜日、時間については午後2時から、場所は、であえーる4階のこの場所で行いたいと思います。

よろしくお願いいたします。

それでは、第12回教育委員会定例会を終了させていただきます。

ご苦勞様でした。

午後4時17分 閉会

岩見沢市教育委員会会議規則第 15 条の規定により、ここに署名する。

署名委員